



「水戸黄門」をはじめテレビの時代劇で使われているわらじは、どこで作られているかご存知ですか？実は、和水町の戦国わらじの会の手製です。本町で二月に開催している「戦国肥後国衆まつり」でも使用されているわらじは、ひとつひとつ丈夫なわらじとして好評です。わらじのほか、わらぞうりの手づくり体験もできますよ。

履いてみると、  
とっても軽くて何とも  
いえない履き心地です。

**体験**

# わらじづくり



①はがき4枚を漉きます。

②漉いた和紙に「くまモン」等の透かしを入れます。

③脱水機で水分を抜きます。

④乾燥機で乾燥してできあがり！



温もりのある  
手漉き和紙体験

# 紙すき

**体験**



開 9:00~16:00  
休 祝日、年末年始  
料 入館料：大人200円、子ども100円  
※別途、体験料(100円~)が必要です。  
●受入人数/10名~  
問 和水町教育委員会 社会教育課  
☎0968-34-3047 (10日前までに要予約)

和水町の手漉き和紙の歴史は、約四〇〇年あり、特に江戸時代から明治時代にかけては、和紙生産を主産業として栄えました。最盛期には八五〇軒もの紙漉き農家があり、明治十二年には熊本県内生産の六十五%を占めるほどでした。しかし、時代の流れとともに衰退し、昭和三十七年を最後に姿を消してしまいました。和水町では、手漉き和紙製作技術の復活と保護・保存を目的として平成四年に「手漉き和紙保存会」を発足し、現在も町内外の多くの方に手漉き和紙の魅力を伝えていきます。平成十年に「手漉き和紙の館」が開設され、体験学習交流の場として活用されています。



●団体受入人数/10名まで  
料 1人1,000円  
問 三加和総合支所事業課  
☎0968-34-3111(代) (要予約)

